



◆コクヨ VS プラス

◆調査概要

封をしたり、書類を貼り合わせたりとデスクワークに欠かせない存在である、のり。でんぷんのりやスティック状の液状のりを経て登場してきた、いわば「究極の糊」が、今回扱うテープのりである。テープのりは内蔵されたカートリッジにテープが巻かれており、ヘッド部分を紙に押しつけると糊がテープごと紙に転写される。使用する際に指が汚れることはなく、カートリッジ内の糊が乾いてしまうこともない。のり付けしたい部分に当て、サッと引くだけの手軽さが最大の魅力だ。

今回はそんなテープのりを扱う企業の中から、比較的知名度の高い「コクヨ」と「プラス」の二社を選び、それぞれの製品について比較を試みた。

【企業比較】

コクヨ	比較項目	プラス
コクヨ株式会社	企業名	プラス株式会社
明治 38 年 10 月	創業	昭和 23 年 2 月
黒田 章裕	代表者	今泉 公二
<ul style="list-style-type: none"> ●文具、事務用品を製造・販売するステーションナリー関連事業グループ...コクヨ S&T (株) 他 ●オフィス家具、公共家具の製造・販売、オフィス空間構築などを行うファニチャー関連事業グループ...コクヨファニチャー(株) 他 ●オフィス用品の通販とインテリア・生活雑貨の販売を行う通販・小売関連事業グループ... (株) カウネット他 	<p>主な事業内容</p> <p>出所 ▶コクヨホームページ『事業概要』 及び ▶プラスホームページ『会社概要』</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●オフィス家具、オフィスインテリア用品の製造・販売 ●文具、事務用品、OA・PC 関連商品、事務機器の製造販売 ●オフィス環境のデザイン・施工・内装工事 ●電子光学機器、教育機器の製造・販売 ●日用雑貨品、食料品、ソフトウェア、書籍の販売 ●インターネットを利用した上記商品の販売

【商品比較】

ココヨ	比較項目	プラス
13種(うち詰替用 11種)	商品数	8種(うち詰替用 4種)
2005年	発売開始時期※	1995年
<p><スタンダード> ☆ドットライナーしっかり貼るタイプ</p> <p><エコ仕様></p> <p><長いテープ> ☆ドットライナーロング</p> <p><片手で楽々> ●ドットライナースタンプ</p> <p><携帯サイズ> ●ドットライナージュニア ●ドットライナープチ</p> <p><貼ってはがせる> ●ドットライナー貼ってはがせるタイプ ●ドットライナーフィッツ</p> <p><強かに貼る> ●ドットライナーパワー</p> <p><ノック式> ●ドットライナーノック</p> <p><のり面に柄付き> ●ドットライナーキュート ●ドットライナーハート柄</p>	<p>商品ラインナップ</p> <p>出所</p> <p>▶ココヨホームページ『ココヨステーションリー総合カタログ』及び</p> <p>▶プラスホームページ『商品一覧』</p> <p>☆印は人気商品 (Amazon 『テープのり』人気度による)</p>	<p><スタンダード> ☆norino ノリノ</p> <p><エコ仕様> ●TAPE GLUE ECO テープグルーエコ</p> <p><長いテープ> ☆SPIN ECO スピンエコシリーズ</p> <p><片手で楽々> ●norino beans ノリノビーンズ</p> <p><携帯サイズ> ●noripia ノリピア</p> <p><貼ってはがせる> ●TAPE GLUE R テープグルーR ●SPIN ECO スピンエコシリーズ</p>

※発売開始時期はココヨホームページ『沿革』及びプラスホームページ『カンパニー概要』による

【人気商品一騎打ち！勝手に性能比較】

ドットライナーしっかり貼るタイプ	比較項目	Norino ノリノ
	デザイン	
2色	本体カラーバリエーション	6色
16m／8.4mm	テープ長さ／幅	8m／4・6・8.4mm
420円	値段(税込)	283円
1分30秒	速乾性 テープを引いてからべたつきがなくなるまでにかかった時間	1分16秒
137回	粘着力 テープのりを5cm引いたコピー用紙片を用意し、窓ガラスに貼ったりはがしたりして何回まで粘着力が持続するか	114回
シワもできず綺麗な仕上がりがかった	仕上がり コピー用紙二枚を貼り合わせたとき	テープ幅の細いものは少し粘着力に欠けることがある
丸みを帯びたフォルムで手になじみやすい	その他	カラーによって様々なテープ幅が選べるのが嬉しい
9点	総合点 10点満点	8.5点

◆考察

テープのりは、現代におけるのりの究極の形である。でんぷんのりに始まるのりの長い歴史を振り返ることで、テープのりに至るまでにのりがいかにして欠点を補いつつ進化してきた文具であるかが分かってくる。

のりは、紀元前6000年～5000年にはすでに存在していた。農耕が盛んな日本で

は穀物を利用したでんぷんのり、狩猟が盛んなヨーロッパでは動物の骨の髄から取り出したニカワが主に使われていたようだ(『トンボ Q&A/文具のまめちしき』ホームページより)。しかし、これらには腐るという弱点があった。そんなのりの不便さを解消したのは、東京で薪炭商を営んでいた木内弥吉が開発した腐らないでんぷんのりだ。商売が大当たりしますようにと願いを込め、製品の蓋に“矢が的に当たる”マークを刻印した「ヤマト(矢的)糊」は、そのまま社名にもなった。これは日本初の保存できるでんぷん糊として、広く受け入れられた。

でんぷんのり以外にはアカシヤの樹液(アラビアゴム)を水に溶かしたアラビアのりがあったが、これは稀少で大変高価なものだった。そこで、イギリスやドイツから輸入されたアラビア糊を基に、ヤマトが1975年に発売したのがポリビニールアルコール製の液体糊「アラビックヤマト」だ。滑らかな塗り味と、乾きが速く強い接着力の合成糊、そして特殊なスポンジキャップの使いやすさでこの液体のりは日本国内で広く流通した。液体のりはその抜群の接着力から、のりの定番として今も根強い人気を誇る。紙面に粘着成分がよくしみ込むので、しっかりはり付けたいときに便利である。反面、のりの付着面が液体でふやけたりヨレたりする欠点があり、大切な書類などへの使用は避けたほうが良いだろう。

対して、固形のりとも呼ばれるスティックタイプののりは、紙面がヨレないきれいな仕上がりで液体のりの弱点をカバーしている。固形のりの元祖は1970年にドイツのメーカーが発売したものだ。日本では、トンボ鉛筆が1971年に開発した「ピット」が最初の固形のりとして知られている。粘着強度ではやや液体のりに劣るが、小面積ののり付けをする場合には十分な粘着力を持つ。仮止め用の貼って剥がせるタイプや、紙と布やプラスチックなどの別素材を接着できるタイプなどバリエーションが豊富なのも魅力だ。

今回対決テーマに取り上げたテープのりは、他の二つののりに比べて歴史の浅い商品である。ドイツのペリカン社が世界初のテープのり「ロールフィックス」を発売したのが、1980年代半ば。元々はヨーロッパで多く使われてきたテープタイプだが、最近では日本でも浸透しつつある。発売当初のテープのりには「最後まで使い切れない」「糊のキレが悪く、粘着剤が糸引きして仕上りが汚くなる」という弱点があった。その弱点に挑んだのがコクヨだった。柔らかな粘着面が連続して繋がっていたこれまでのテープを一新し、「最初から切れている糊、面ではなく点で作られた糊」をコンセプトに生まれたのが「ドットライナー」だ。糊の成分は、劣化が少なく接着力が長持ちする耐光性アクリル系を使用している。テープ糊本体は握りやすさ・持ちやすさを重視し、先端を小さくして小回りのきく形になった。キャップは本体と一体化して、はずす手間や紛失を防止。糊が送り出されるヘッド部分の先端ローラーには、チューブを入れて適度な弾性を持たせ、軽い力で引きを実現した。これに各社が続く、今では「ドットライナー」型の

テープのりが主流となっている。テープのりの魅力はなんといっても、さっと引くだけで手や書類を汚さず綺麗にのり付けできる手軽さだ。更に、用途に応じてテープ幅を選べるものや強力タイプ・筆箱に入れてもかさばらないミニタイプなど、商品展開の幅広さは固形タイプに勝るとも劣らない。他ののりに比べて熱に弱いことと、カラーコピーの印画部など油分が付着している紙や、感熱紙など特殊な表面処理がなされている紙には接着できないのが弱みだ。

コクヨは全てのテープのりをドットライナーの銘柄で統一している。ドットライナーには様々なバリエーションがあり、スタンダードなもの以外にも、ノック式の「ドットライナーノック」や強力接着の「ドットライナーパワー」など機能性の高い製品が人気を集めている。しかし、ノリノをはじめとするプラスのテープのりには、カラーバリエーションが豊富でコンパクト・可愛いデザインのものも多く揃っている。女性や学生にとって親しみやすい製品が多いと言えるだろう。ノリノシリーズのテープのり「ノリノビーンズ」はグッドデザイン賞を2012年に取得しており、「学生をメインターゲットとして開発された小さいサイズのテープのりである。ターゲットを明確に絞り込み、その結果、テープのり幅を学生がよく使うB罫ノートにぴったりの6mmに設定されているなど、現実的な機能的配慮がされている」と評されている(グッドデザインアワードホームページより)。

性能比較で調査項目に取り入れた「速乾性」と「粘着性」は一見相反する要素だが、のりに最も求められる性能はこの二つであろう。実験に使用したスタンダードタイプの対決では、速乾性ではノリノに、粘着性ではドットライナーに軍杯が上がった。ただ、各社ともそれぞれに特化したテープのりをラインナップしているので、「粘着力は弱くてもすぐに貼れるもの」といった明確な希望がある場合は、そういった製品を選ぶと良いだろう。

今回は商品を絞って比較を行ったが、トンボ鉛筆の「ビットテープ」やニチバンの「tenori」など、他にも注目をあつめるテープのりが続々と登場している。今後も更に進化したテープのりの登場を期待したい。

【参考文献】

野口茂樹、2010、『こと典百科叢書 復刻 第2巻 通俗文具発達史』大空社
村山幸三郎、1994、『ふしぎ発見 できるまで図鑑④文房具』アリス館

【参考資料】(URL 取得日2012年2月7日)

コクヨ／企業情報／事業概要 <http://www.kokuyo.co.jp/com/info/business/>
コクヨ／製品・サービス／コクヨの文具／『コクヨステーションリー総合カタログ2013』 <http://www.kokuyo.co.jp/products/>

テープのり比較 長濱麻未

コクヨ／企業情報／会社案内／沿革

<http://www.kokuyo.co.jp/com/info/enkaku.html>

プラス株式会社／会社概要 http://www.plus.co.jp/data/corporate_data.html

プラス株式会社／PLUS Stationery／カンパニー概要 <http://bungu.plus.co.jp/sta/company/>

プラス株式会社／商品一覧／貼る用品 <http://bungu.plus.co.jp/sta/product/paste/index.html>

Amazon.co.jp／テープのり／人気度順（URL省略）

トンボ KIDS／のりの歴史 http://www.tombow.com/kids/book/made_paste_history.html

トンボ Q&A／文具のまめちしき／のりの雑学 <http://www.tombow.com/tombow-qa/%E3%81%AE%E3%82%8A%E3%81%AE%E9%9B%91%E5%AD%A6/>

上場企業情報「KMONOS」／糊といえば「アラビックヤマト」ヤマト株式会社はどんな会社？ <https://kmonos.jp/csr/2011/11/c012.html>

GOOD DESIGN AWARD <http://www.g-mark.org/;jsessionid=E712E58A02AD060A0BE6E70A6E1EC017>

奈良女子大学文学部人文社会学科文化メディア学コース編
(2012年度後期「文化社会学演習」報告書)

『文房具—ぶんぐ大学への招待—』

2013年8月12日発行

編集・発行 奈良女子大学文学部 人文社会学科
文化メディア学コース (小川研究室)

〒630-8506 奈良市北魚屋西町 電話&FAX 0742-20-3259

E-mail ogawax@dream.com

印刷 株式会社 実業印刷